

## ＜新型コロナウイルス感染症対策における健康観察票＞

別添 2

**体調の良、不良にかかわらず、毎日の体温・身体症状や行動履歴等を記録してください。**

【健康状態及び行動を記録する必要性（使途）について】

- ① 毎日の体温、症状及び行動を記録することによって、健康状態等を客観的に確認することができ、健康・体調管理に繋がります。
- ② 毎日の行動を記録し、振り返ることで、感染リスクの高い行動の有無が確認でき、行動改善につなげることができます。
- ③ あなた自身に、発熱や倦怠感等の身体症状が発生した場合、症状出現日以前にさかのぼって行動内容を確認・説明することができるため、新型コロナウイルス感染可能性の有無について判断がつきやすくなります。
- ④ あなたが感染者又は濃厚接触者となった場合、保健所の調査（どこから感染したか、誰かに感染させていないかなど）に対応することができます。

**症状がある場合、別紙「発熱・咳等の症状のある場合の対応について」により判断・対応してください。**

【参考：平熱           ℃】

月日	体温		症状（その日1日における該当の症状に○をつける）			
	朝	夜	行動（県外との往来、登校、アルバイト、サークル等、会食・飲み会）			
／	℃	℃	発熱・呼吸困難・倦怠感・味覚障害・嗅覚障害・咳・咽頭痛・下痢・その他（           ）			
（月）	県外との往来	都道府県（目的等）	登校	アルバイト	サークル等	会食・飲み会
	有 ・ 無		有 ・ 無	有 ・ 無	有 ・ 無	有 ・ 無
／	℃	℃	発熱・呼吸困難・倦怠感・味覚障害・嗅覚障害・咳・咽頭痛・下痢・その他（           ）			
（火）	県外との往来	都道府県（目的等）	登校	アルバイト	サークル等	会食・飲み会
	有 ・ 無		有 ・ 無	有 ・ 無	有 ・ 無	有 ・ 無
／	℃	℃	発熱・呼吸困難・倦怠感・味覚障害・嗅覚障害・咳・咽頭痛・下痢・その他（           ）			
（水）	県外との往来	都道府県（目的等）	登校	アルバイト	サークル等	会食・飲み会
	有 ・ 無		有 ・ 無	有 ・ 無	有 ・ 無	有 ・ 無
／	℃	℃	発熱・呼吸困難・倦怠感・味覚障害・嗅覚障害・咳・咽頭痛・下痢・その他（           ）			
（木）	県外との往来	都道府県（目的等）	登校	アルバイト	サークル等	会食・飲み会
	有 ・ 無		有 ・ 無	有 ・ 無	有 ・ 無	有 ・ 無
／	℃	℃	発熱・呼吸困難・倦怠感・味覚障害・嗅覚障害・咳・咽頭痛・下痢・その他（           ）			
（金）	県外との往来	都道府県（目的等）	登校	アルバイト	サークル等	会食・飲み会
	有 ・ 無		有 ・ 無	有 ・ 無	有 ・ 無	有 ・ 無
／	℃	℃	発熱・呼吸困難・倦怠感・味覚障害・嗅覚障害・咳・咽頭痛・下痢・その他（           ）			
（土）	県外との往来	都道府県（目的等）	登校	アルバイト	サークル等	会食・飲み会
	有 ・ 無		有 ・ 無	有 ・ 無	有 ・ 無	有 ・ 無
／	℃	℃	発熱・呼吸困難・倦怠感・味覚障害・嗅覚障害・咳・咽頭痛・下痢・その他（           ）			
（日）	県外との往来	都道府県（目的等）	登校	アルバイト	サークル等	会食・飲み会
	有 ・ 無		有 ・ 無	有 ・ 無	有 ・ 無	有 ・ 無

※その他、感染リスクの観点から気になったことなどがあれば記録しておいてください。

発熱・咳等の症状のある場合の対応について

本学では新型コロナウイルス感染予防のため、「発熱・風邪のような症状、味覚・嗅覚の異常等を感じた場合は出席を控える（公欠として扱います）」としていますが、その具体的な目安について、大学として下記のように取り決めましたので、学生の皆さんはこれに従って判断・対応してください。

記

- 1) 毎朝健康観察をし、以下のチェックリストについて、A項目において1項目以上、又はB項目において2項目以上該当する場合に、大学へ連絡のうえ、登校を自粛する。また、医療機関等への受診・相談を検討する。
- 2) 各講義の最初において、1)と同様の項目に該当することが判断される場合は、科目担当教員に連絡し、受講を自粛する。また、医療機関等への受診・相談を検討する。
- 3) 1) 2) に該当する場合は、受診相談コールセンター(TEL:0120-88-0006)に相談すること(※)。かかりつけの医療機関を受診する場合は、その医療機関に対し必ず事前に電話すること。
- 4) 1) 2) による欠席は公欠等として扱う。
- 5) 毎朝検温・記録し、それに基づいて平熱を推測しておくこと(必要に応じてそれを申告してもらう場合がある)。
- 6) 大学へ連絡は、教務学生課もしくは各学年の担任まで。特に濃厚接触者になった場合、PCR検査を受検することになった場合は、必ず教務学生課に連絡すること。  
⇒ TEL:0238-22-2340、E-mail:jimu@yone.ac.jp

【チェックリスト】

A項目において1項目以上、又はB項目において2項目以上該当する場合は大学へ連絡のうえ、登校・受講を自粛し、医療機関等への受診・相談を検討する。

	確認項目
A	発熱の症状がある(37.5度以上。平熱にかかわらず)
	息苦しさ(呼吸困難)がある
	強いだるさ(倦怠感)がある
B	発熱の疑いがある(平熱より1度高い場合)
	味を感じない(味覚障害がある)
	臭いを感じない(嗅覚障害がある)
	咳の症状が続いている
	咽頭痛が続いている
	下痢をしている(持病や食あたりなど新型コロナウイルス感染症以外の原因が推測されるものを除く)

※《参考》受診案内の手順(イメージ)

- ・「コールセンター」が、あなたの症状の経過と行動履歴等を確認。
- ・感染者又は濃厚接触者であることが強く疑われる場合、管轄の保健所が、あなたに折り返し連絡し、改めて症状等を確認。
- ・保健所が、受診する医療機関と受診までの注意事項を指示。
- ・注意事項に従って、指定の医療機関(新型コロナ外来)を受診。
- ・医師の診断を受け、必要な場合はPCR検査を受検。

(記入例)

<新型コロナウイルス感染症対策における健康観察票>

体調の良、不良にかかわらず、毎日の体温・身体症状や行動履歴等を記録してください。

【健康状態及び行動を記録する必要性（用途）について】

- ①毎日の体温、症状及び行動を記録することによって、健康状態等を客観的に確認することができ、健康・体調管理に繋がります。
- ②毎日の行動を記録し、振り返ることで、感染リスクの高い行動の有無が確認でき、行動改善につなげることができます。
- ③あなた自身に、発熱や倦怠感等の身体症状が発生した場合、症状出現日以前にさかのぼって行動内容を確認・説明することができるため、新型コロナウイルス感染可能性の有無について判断がつきやすくなります。
- ④あなたが感染者又は濃厚接触者となった場合、保健所の調査（どこから感染したか、誰かに感染させていないかなど）に対応することができます。

症状がある場合、別紙「発熱・咳等の症状のある場合の対応について」により判断・対応してください。

【参考：平熱           ℃】

月日	体温		症状（その日1日における該当の症状に○をつける）			
	朝	夜	行動（県外との往来、登校、アルバイト、サークル等、会食・飲み会）			
4/5	36.2℃	36.6℃	発熱・呼吸困難・倦怠感・味覚障害・嗅覚障害・咳・咽頭痛・下痢・その他（           ）			
(月)	県外との往来	都道府県（目的等）	登校	アルバイト	サークル等	会食・飲み会
	有・無	宮城県（就活）	有・無	有・無	有・無	有・無
4/6	36.8℃	36.9℃	発熱・呼吸困難・倦怠感・味覚障害・嗅覚障害・咳・咽頭痛・下痢・その他（           ）			
(火)	県外との往来	都道府県（目的等）	登校	アルバイト	サークル等	会食・飲み会
	有・無	-	有・無	有・無	有・無	有・無
4/7	37.7℃	38.0℃	発熱・呼吸困難・倦怠感・味覚障害・嗅覚障害・咳・咽頭痛・下痢・その他（           ）			
(水)	県外との往来	都道府県（目的等）	登校	アルバイト	サークル等	会食・飲み会
	有・無	-	有・無	有・無	有・無	有・無

※その他、感染リスクの観点から気になったことなどがあれば記録しておいてください。

[ 4月5日(月)に就職活動で仙台を訪問し、仙台在住の知人2人と屋内で2時間会食した。 ]